

令和元年度 相馬市外部評価委員会 市事務事業の外部評価結果

【評価点】 8名の委員が事務事業ごとに事業の妥当性（必要性）や効率性（有効性）などについて5点満点で評価したものの平均点数。	【A評価 21事業】 事業は必要かつ有効であり推進することが妥当 （評価点 4.0以上）
	【B評価 1事業】 事業の改善を図りながら継続することが妥当 （評価点 3.0～3.9）
	【C評価 0事業】 事業の一部修正・再検討（事業内容・手法・規模・実施主体等）が必要 （評価点 2.0～2.9）
	【D評価 0事業】 事業の見直し・休止・廃止について検討が必要 （評価点 1.9以下）

No.	事務事業名	評価点	委員会 評価	コメント
1	自主防災組織の育成指導と防災訓練の参加	4.2	A	幅広い市民全体の防災意識の向上のために、平時の班単位での集まりのときに、避難場所の確認、ハザードマップを活用した危険箇所の確認、緊急時の行動の確認などを必ず議題として取り上げ防災や減災に努めることを願います。
2	安心して子育てができる環境づくり	4.7	A	待機児童をゼロにするといったロードマップを考えながら、保育士を確保するための奨学金制度を継続し、保育士の確保にこれからも力を注ぐとともに、保育士の労働環境の整備も合わせて行い、子育て世代が安心してできる環境づくりの充実を願います。
3	確かな学力の育成	4.6	A	読む、書く、考える、考えられるなどの力を向上させるために読書の時間、辞書を使うなど、ICT機器などを使用しながら、さまざまな工夫を図り、子どもたちの学習の格差が大きくなりたくないよう、学校側で各家庭の学習状況の把握を丁寧に行い、子どもたちの学習能力の向上につなげることを願います。
4	豊かな心の育成と生徒指導の充実	4.7	A	人を思いやる、故郷を思いやる、そして明日を考える力を作る、そのような豊かな心を育てる指導の充実と子どもたちを取り囲む環境による負の要素は段々と変化しているようです。子どもたちの成長とともに変化していく負の要素に専門家の意見を取り入れ、継続して事業の推進を願います。
5	学校給食の充実	4.8	A	地産地消の学校給食とその安全性を発信しながら、食育という観点からは、3食をどのように取るか、何を取ることによってそれがどのように全身の機能向上につながっていくか、また、生産者のことを想像しながら食べることは残菜減少にもつながるため、子どもたちにその考えを伝え、さらなる学校給食の充実を願います。
6	学校施設の整備と充実	4.6	A	子どもたちの教育環境としての学校の設備の充実は重要です。特別教室などへのエアコンの設置を最優先でお願いします。また、学校の改修工事の際は、工事の音による授業への影響を考慮し、より一層の騒音対策も検討して整備の充実を願います。
7	復興市民市場の整備と磯部水産加工施設の活用	4.7	A	安心安全をアピールするためにあらゆるメディアを使い、また、放射能検査場の見える化を図りながら、安全性へのPRを積極的に行い、新たに創設される復興市民市場は市民や事業者の意見を取り入れ、相馬の水産物のPRや誘客に有効に活用していただき、磯部水産加工施設との連携を検討しつつ事業の推進を願います。
8	商店街の活性化	4.0	A	中心商店街の活性化は市全体の問題であり、観光客誘致の点からも喫緊の課題で自治体と商工会議所など関係団体との緊密な話し合いを行い、プレミアム商品券助成事業の効果を検証し、次へつなげられる事業の推進を願います。
9	歴史を活かした通年観光に向けた取り組み	3.9	B	四季を通じた観光となると問題点は数多くありますが、自然や史跡を活かした観光をアピールするためにすることは多々あります。街中の史跡めぐり案内板設置などできることを早急に行ってください。また、各課の横のつながりを強化し、情報を共有しているいろいろな広がり期待し、さらなる事業の推進を願います。
10	公民館活動の推進	4.7	A	地域住民の交流や世代間の交流も含めたさまざまな講座・イベントの企画、また市民のニーズに耳を傾けた企画、そして若者が集まるイベントやサービスを継続的に提案して公民館を中心とした地域住民全体が参加できるような公民館活動を願います。
11	図書館機能の充実	4.6	A	スマホでの読者が増える一方で本での読書も根強いニーズがあると思います。メディアを使った情報発信を積極的に実施し事業の活性化を図ってください。また、外国人の方が増えてきている現状にも考慮し、日本語以外の蔵書も増やし、相馬の顔となるような図書館機能の充実を願います。
12	音楽による生きる力をはぐくむ事業	4.5	A	音楽を含め優れた芸術文化に触れる機会があることは素晴らしいことだと思います。人間としての優しさや希望が生きる力につながっていく事業なので、継続して事業の推進を願います。
13	スポーツ施設の維持管理と利活用の促進	4.6	A	施設の維持管理にはNPOや関連団体との協力が必要であると思われるため、話し合いなどを緊密にしながら行ってください。また、来相者に対し市のパンフレットを渡すなど相馬の売り込みを積極的に行い、施設を利用するスポーツ人口の増加や交流大会開催を増やすよう取り組むことを願います。
14	ごみの減量化・再資源化	4.5	A	グローバルかつ身近な問題としてとらえる市民の意識改革が必要だと思います。ごみの排出量を減らすことに対する市民教育を考えていただき、プラスチックごみ、紙などの再資源化がごみの減量化につながっていくことを広報などで積極的にPR願います。
15	救急・救助体制の整備と消防団の充実	4.7	A	迅速な救急・救助体制の整備は、災害時のみならず平時においても必要不可欠なことであります。緊急時の行動などのスキルを身に付けておくことは、異常な気象状況が続く今、以前にも増して重要だと考えます。AEDの使い方だけでなく緊急時に身近にあるもので寒さをしのぐ、担架をつくるなどの実施体験なども検討していただき、継続して事業の推進を願います。
16	内部被ばく検査の継続	4.4	A	将来世代の安心安全確保のために市民に対して受診を促すとともに検出者に対する教育やモニタリングを行い、健康の維持を将来にわたって管理することと、また、被ばく線量検査を受診しても数値が低いと診断された方に対して継続した受診を促すなど、さらなる事業の推進を願います。
17	障がい者が安心して暮らすことができる環境の整備	4.4	A	基幹相談支援センターと併せて地域生活支援拠点も整備していただき、市民に対するノーマライゼーションの理念の浸透に努め、また、あらゆる障がい者の意見も反映できるよう事業の充実活性化を願います。 ※ノーマライゼーション＝障がいのある人がない人と同等に生活し、ともにいきいきと活動できる社会を目指すこと。
18	適切な介護サービスの提供	4.5	A	健康寿命を延ばすために介護施設などにも積極的にアピールし、骨太けんこう体操の普及啓発、また、男性参加者を増やす工夫の検討を願います。また、介護職員初任者研修は介護する側とされる側両方にメリットがあるので継続するとともに、介護職員のスキルアップ研修の実施を願います。
19	生活道路の整備	4.7	A	緊急時、災害時における生活道路は重要であることから、緊急車両の通行が困難なところは早急に拡張整備を行い、道路に関するさまざまな情報を地域住民の方に速やかに提供するよう願います。
20	市営住宅の計画的な維持管理	4.5	A	老朽化した市営住宅の改修には数多くの問題点があると思われませんが入居者との調整を図り、早期の実施を願います。
21	下水道施設の適正な維持管理	4.5	A	下水道未接続を少なくすべく努力をしていただき、老朽化した下水道の検査と改修を続け、計画的な維持管理に取り組み、将来にわたって、災害に強く住みよい相馬市になるようさらなる事業の推進を願います。
22	災害危険区域の土地利用・被災地公園の遊具等の整備	4.6	A	防災に関する指示板、避難経路案内板の設置を検討しながら、地域住民や利用者のニーズを考えた公園整備を願います。